

10/2  
五種

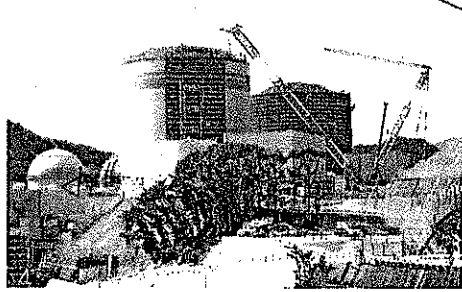
# 関西電力「原発マネー」還流

関西電力幹部に「原発マネー」が還流した背景に  
東京電力福島第一原発の事故後、原発の「安全」対策  
工事費の増大が指摘されています。本紙の調べ  
で関西電力の対策工事費が累計で1兆円を超える見込  
みであることが分かりました。（「原発」取材班）

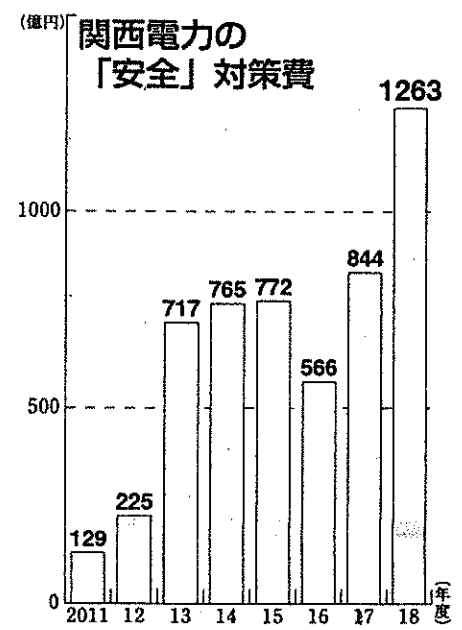
福井県内に大飯、高 徳円、13年度717億  
円、美浜の3原発、11基 円、14年度765億円、  
の原発を有していた関 15年度772億円、16年  
度566億円、17年度8  
基を廃炉にし、運転期間 44億円、18年度1266  
が40年超の3基の再稼働 3億円と大幅に増大（2）  
を狙い追加の対策工事を 3つし、累計の見通し  
しています。は1兆の54億円となっ  
ています。

工事経歴書に  
ずらりと並ぶ  
関西電力によると、関西電力の  
大飯、高浜、美浜（いず  
れも福井県）の3原発の  
対策費は、2011年度  
は129億円でした。  
それが12年度は225

## 福島事故後に「安全」対策費増大



関西電力高浜原発（手前が1、2号機）=5日、福井県高浜町



57・3億円（同）となっ  
ています。吉田開発の工  
事経歴書には、原発の対  
策工事がずらりと並んで  
います。  
大飯原発シビアアク  
シデント対策資材置場の  
造成工事（15年度）1・  
9億円  
大飯原発テロ対策施  
設関連工事（16年度）1  
・6億円  
高浜原発1、2号機  
—

非常用燃料貯油槽敷地造  
成工事（17年度）1・5  
億円…。  
情報提供など  
異例な対応も  
関西電力の社内調査報告書  
によると、森山氏に関西  
が予定している工事の概  
要や概算額、発注先など  
の情報を提供するという  
異例な対応もとっていま  
—

情報提供は、森山氏が  
面談に臨んでいました。  
事前の情報提供は、14  
年9月1日～17年12月31  
日の間に吉田開発が原子  
力本部から直接受注した  
22件中16件、間接受注9  
件、元請け会社から聞き  
出した。関電は吉田開発への発  
注金額や工事内容を公開  
しなかった。森山氏は、  
「震災以降の再稼働等々  
に向けて、安全対策工事  
が非常に多くなった。そ  
ういったことが背景にあ  
るかと思っています。」と認  
めています。

多額の費用を投じ、地  
元の理解を得て再稼働を  
早く進めたい関西電力。その  
裏で、森山氏側から還流  
した「原発マネー」は、  
実際はどう扱われていた  
のか。徹底究明が必要  
です。